



1年学年だより

発行日：令和4年6月30日（木）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：遠藤 広樹 NO. 3

世界を幸せにする第一歩

校長代理 富樫哲一

6月も終わりに近づき、暑い日が多くなってきました。去年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、残念ながら中止となってしまった合唱コンクールですが、今年は7月12日に神奈川県民ホールで実施できそうです。現在、学校では合唱コンクールに向けて、朝、昼、放課後にクラス練習をしている美しい歌声が響いています。

私が中学校の担任をしていた頃の話ですが、合唱コンクールについては少し苦い思い出があります。それは、とにかくどのクラスの担任をしていたときも、合唱コンクール前になるとクラスの雰囲気が必ず一時期、悪くなってしまうのです。原因はほとんどいつも同じです。合唱に対する生徒一人ひとりの考え方が違うことから、クラスで良い合唱をつくりあげようとしているリーダーとその他の生徒が対立してしまうのです。私は担任として毎日のように双方の話を聞き、お互いの気持ちが分かり合えるように通訳というかメッセンジャーとして、走り回っていたことを思い出します。

今思い返してみると、子どもたちの本当に尊敬すべきところは、一度として関係が悪くなったまま合唱コンクールを終えたことはなかったことです。最後にはリーダーもそうではない生徒たちも、双方が納得して自分たちなりの合唱をつくりあげていました。学校行事に向かうことで生じる、こうした「ピンチ」はときにクラスの絆を強くすることを何度も経験させてもらいました。生徒たちには心から感謝しています。

さて、今月はリーダーシップについて皆さんに考えてもらいたいと思います。皆さんはリーダーシップと聞いてどう思いますか。もしかしたら皆さんの中には、「リーダーシップは自分とは関係ない。そういう能力のある人が、グループを率いればいい。」または「できることなら、一生リーダーシップをとらずに生活していきたい」と思っている人もいるかもしれません。

しかし、本来のリーダーシップとはそんなに大げさなものではないと私は思っています。「自分が所属しているグループの人たちが、より良い経験ができるようお互いがサポートを行っていくこと」がリーダーシップの本質のように思います。例えば、友達と一緒にどこかにご飯を食べに行こうという話になったときに、自分の経験をもとにした理由などを述べながら「この店にしよう！」と提案するというのも立派なリーダーシップです。

別の言い方をすると、リーダーシップとは、「自分と他人の区別をつけないこと」ということもできるでしょう。イメージとしては、自分の枠を取り払い、自分をどんどん広げていって、「自分が所属しているグループはすべて自分」という感じです。そうすれば、「グループで起きていることはすべて他人事ではなく、自分のこととして取り組む」という本来の意味でのリーダーシップを発揮できるのではないのでしょうか。

南高等学校及び南高等学校附属中学校の様々な教育活動の中で、目にし、耳にすることが多いSDG'sの考え方を実践することも、まさに、自分の所属しているグループを「世界全体」まで広げた行動です。それは、皆さん一人ひとりが世界全体に対して発揮するリーダーシップの一つと言えるでしょう。

皆さんが自分なりのリーダーシップを発揮して「世界を幸せにする第一歩」を踏み出すことを期待しています。

本校生徒がご利用いただける「給付制度」および「統合賠償責任保険」のご紹介

【日本スポーツ振興センター災害共済給付制度】※掛金年間460円：学校納入金にて徴収済みです。

授業や部活動、登下校中などの学校管理下で起きた傷病が対象となる制度です。保険診療内にかかった医療費と通院に伴う費用（医療費の1割）が給付されます。詳細は保健室にお問い合わせください。

【日新火災海上保険株式会社 統合賠償責任保険】※掛金年間265円：部活動振興費より徴収済みです。

授業や部活動、校外学習などの学校管理下で、他の生徒または第三者に損害をあたえた場合や、生徒が偶発の事故により学校所有物を損壊させた場合などに補償されます。詳細は担任の先生にお問い合わせください。

がんばった体育祭！

先月5月31日（火）に南高祭体育祭の部が行われました。前日の雨で水たまりができており、外での開催が危ぶまれましたが、体育祭実行委員や先生方のおかげで無事にグラウンドで行うことができました。いろいろな人の協力により開催できたこの体育祭、いかがでしたか？学年種目の大縄では、どのクラスも練習以上の力が発揮でき、今までの記録を大幅に更新しました。昼休みや体育の授業でたくさん練習した成果が出せましたね。南高祭体育祭の部委員会の学年代表である、4組増永衣純さんに体育祭の振り返ってもらいました。以下コメントです。

みなさん、体育祭お疲れさまでした。南高等学校附属中学校に入って初めての体育祭でしたが、全員が協力して全力で楽しめたいい一日だったと思います。1年生は特に学年種目で、クラスの団結力が光り、それぞれがいい記録を叩き出すことができました。私のいる4組は、みんなで話し合い、練習をしたことで、100ポイントという目標を大幅に越え、174ポイントを取ることに成功しました。ここから、私はみんなで協力して目標を達成することの嬉しさを学ぶことができました。これからもみんなで体育祭の経験を生かして、様々なことに取り組んでいきたいです。



このほかにも、サバイバル、部活動対抗リレー、クラス対抗リレーなど様々な種目がありました。どれも本気で頑張りました！

Introduction to SDGs

6月16日(木)に南高等学校の蛭田先生によるSDGsについての講演会が行われました。みなさんはSDGsが採択されるまでの流れやMDGsとの違いなどを知っていましたか?さまざまな情報を得るためには、視野を広く持ち、自ら探しに行くことの大切さも教えていただきました。自分たちと同じ年頃の子がした環境に関するスピーチは多くの人の心に残ったようです。以下、講演会の感想です。



1組 [redacted] さん

ズスキさんのように、人のために12歳で演説する人はすごいと思った。そこまでいなくても南中にも自分たちの学校生活をよくするために考え、実行している人もいる(非常食のアレルギーをなくすなど)と知って、驚いた。それほど身近なところにもSDGsのために比較的大きなことを実行している人がいることを知って、自分にもできることがあるはずで、それを実行することが大切だと分かった。今できることといえば、(それほど大きなことではないが)自分がやっていることをどんどん周りに伝えていくことだと思った。

2組 [redacted] さん

セヴァン・ズスキさんのスピーチがすごい印象的でした。当時は、今の僕とそれほど年齢が変わらないのに、あれだけ説得力のあるスピーチをしていたのですすごいと思いました。僕は、環境についてどうこう言われるようになったのは最近のことだと思っていましたが、もう50年前から同じようなことが言われていたのだと知り、驚きました。今は「SDGs」や「脱炭素」などのワードは毎日聞くようになり、世界的にもSDGsに対する関心が高まっていると実感しました。また、物をすぐ捨てたりせずになるべく長く使うなど、自分でもちょっとした意識でSDGsに貢献できると思ったので、そういうことを実践していきたいです。

3組 [redacted] さん

動画を見ながらの講演だったため、より世界の現状を強く感じる事ができた。遠い世界の裏側で起きていると思っていた問題も、ほとんどが自分に関わる大切なことだと気づけた。また、12歳の演説には深く納得した。解決のための方法を誰も知らないのに一方的に世界を壊し続ける、ということはあまりにも無責任なことだと感じた。一人ひとりが一つひとつの行動に意味を持たらいいと思う。また、自分はこうだけど相手はちがう、など自己中心的にならず広い視野で世界を見つめ、行動していく必要もあると思った。今もなお、若者がやりたくないのに重労働をさせられている、などの世界的問題について、他人事だと思わず、身近な問題だと思って行動していきたい。

4組 XXXXXXXXXX さん

今回の講演会では、SDGs がつくられるまでの話、SDGs をつくった背景などについて更に知り、とても過酷な状況だということを改めて感じました。特に印象に残ったのは2つあります。1つはセヴァン・スズキさんの”If you don’t know how to fix it, please stop breaking it.”という「直せないなら、壊すのはもうやめて！」という発言です。12歳の子供だからこそ言えるし、考えられる、とても印象的なスピーチだと思いました。2つ目は、ドイツのたった2ユーロの自販機で売られている T シャツのことです。たった20秒の動画で、1日16時間も働いて、1時間13セント（約16円）。1日に約256円しかもらえないという過酷な労働条件で働いている事実を知った人は、多くの人が T シャツを買わずに寄付することを選んでいました。私は、事実を知ること考えが変わったり、見方が変わるのだと感じ、今、私たちの身の回りのものは誰がどうやってどんな条件で作っているのかを知り、自分の視野を広げることが大切だと思いました。



みちをのつばやき「過去の積み重ねが今で、今の積み重ねが未来で。全部つながっているんだなあ」

南高附属中生としての初めての定期試験が終わりました。11期みなさん、定期試験はどうでしたか。手応えはありましたか。自分の力をしっかりと発揮できましたか。試験に限ったことではありませんが、本番の出来は、それまでの準備によって決まることが多いです。「どれだけ準備ができたのか」「準備の仕方は合っていたのか」を考えることは、次のための大切な振り返りです。転んだら立ち上がって、次は転ばないように、でも転んだらまた立ち上がって、進んでいけたらステキだと思います。

7月には合唱コンクールがあります。みんなで準備していきましょうね。

事務室からのお知らせ

昨年度決算報告と、今年度予算計画をお知らせします。詳しい費目等はホームページでご覧になれます。

令和3年度 予算決算報告書（単位：円）

| 費目 | 配当額 | 決算額 | 残額 | 備考（具体例） |
|---------|------------|------------|---------|---------|
| 学校運営振興費 | 13,120,900 | 12,889,738 | 231,162 | 備品、消耗品等 |

※残額は横浜市に戻入されています。

令和4年度 予算執行計画書（単位：円）

| 費目 | 配当額 | 決算額 | 残額 | 備考（具体例） |
|---------|------------|------------|----|---------|
| 学校運営振興費 | 13,125,900 | 13,125,900 | 0 | 備品、消耗品等 |